



すべての政治犯の即時釈放を！

中国政府は、来月4日の天安門事件25周年を前に、改革派知識人、民主活動家、人権派弁護士など中国政府に批判的とみられる人々を次々に拘束しています。

4月24日、ジャーナリストの高瑜氏を国家機密漏洩の疑いで拘束しました。高氏は天安門事件当時には新聞社の副編集長として学生運動を支援し、改革派ジャーナリストとして民主化や言論、表現の自由を訴え続けていました。これまでも二度投獄されています。

また、5月3日に北京で開催された天安門事件を再評価する記念研究会に参加した著名な人権派弁護士の浦志強氏、改革派学者の徐友漁氏、民主活動家の胡石根氏らが拘束されました。

5月7日には、昨年10月に拘束された香港の改革派出版社、晨鐘書局の経営者である姚文田氏に対し、密輸罪で懲役10年の有罪判決が言い渡され、香港紙などは反体制活動家、余傑氏が書いた習近平国家主席を批判する本を香港で出版しようとしたことが拘束の理由だと伝えています。

中国の憲法にも、集会、言論の自由が明記されていますが、中国政府批判を封じ込めようと拘束しているのは明白です。

私たちは、普遍的な自由、人権の価値を共有するものとして、中国政府に対して、不当に逮捕拘束している人々の即時釈放を要求します！

2014年5月14日

「天安門事件25周年世界同時アクション『天下圍城』」日本呼びかけ人

古川郁絵

王進忠